

社長の仕事～追補

「社長の仕事」を掲載してから１０年ほど経つが、考えややっている事ははさほど変わっていない。数字は若干変わって、社員数は１２０人に派遣２０人を加え１４０人、売上は波があるが直近のピークの２０２３年に４０億円、経常利益９億６０００万円、次のピークの２０２７年には売上５０億円、経常利益１０億円は突破すると思われる。扱っている製品は変わらないが、用途としてＡＩ関連が目立ってきた。一方経営環境も変わり、世の中がＡＩブームに沸いているのは追い風だが、異常なまでの物価の高騰、賃金相場の上昇、人口減少による人手不足など経営を難しくする要素も増えてきている。一方以前掲げた社員待遇に関する数値目標は順次達成し、一回のボーナス１００万円超えは毎回１０人以上、年収１０００万円超えも毎年何人か出るようになった。残る退職金１０００万円超えも、今の幹部の中から退職者が出る時には達成できそうだ。

そんな中やっと工業用地の取得の目途が立ち、２０２７年から３年掛り、４０億円ほどの費用を費やしての第３工場の建設を計画している。数年前に１０億円ほどの予算で第２工場の建設を経験したので、その続きと思えばそんなに難しいものではないが、２０年、３０年先を見据えた計画を立てなければと思う。また、昨年私はミラーフィッシュャー症候群なる珍しい病気で９ヶ月の入院を余儀なくされた。病室まで社員を呼んだりパソコンを持ち込んだりしてさほど仕事に支障はなかったが、いよいよ生命の限界を感じさせられた。事業継承の問題ももっと真剣に取り組まなければという考えが深まった。まだ身内からの後継者が決まらないので、社員の中からも考え、またＭ＆Ａ業者の担当者とも真剣に話すようになった。

まわりの会社にも色々変化があった。特に市内の中小製造業ではいよいよ３代目への移行が進みつつある。子息が立派な後継者になったところもあるし優秀な娘婿を社長に迎えたところもある。ＩＴ関連では社員を後継者としたところもある。その一方Ｍ＆Ａで大きな会社の傘下に入ったが、一番の目的だった新工場建設を実施してもらえないといったところもある。当社も第３工場が完成したら、いよいよ後継者を決定しなければならない。

先日、数年ぶりに「社員の心得」を書き直して配布した。１０か条あるうちの二つ目が「嘘をついたり隠し事をしたりしない事」、二つ目は「自分だけ楽しんだり得したりしない事」。これらは経営者としても一番大切な事であり、今後とも変わらないものとして守っていくべきものである。